

## 2018年度第1回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2018年5月21日(月) 13:30~16:30
2. 場所 建築会館会議室 202号
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫, 田中剛, 石原直, 一戸康生, 宇佐美徹,  
(敬称略) 松井良太(岡崎太一郎 代理), 木村祥裕, 向野聡彦, 下川弘海, 田川泰久,  
多田元英, 成原弘之, 西山功, 見波進, 山田哲, 兼光知己(記録)  
欠席: 岡本哲美, 尾崎文宣, 越智健之, 笠井和彦, 澤本佳和, 竹内徹,  
津田恵吾, 中込忠男, 原田幸博
4. 資料(ストレージサーバ)
  - 01-00 委員名簿(五十嵐幹事)
  - 01-01 議事予定(井戸田主査)
  - 01-02 2017年度第4回鋼構造運営委員会議事録案(兼光)
  - 01-03-1 大会論文投稿数(井戸田主査)
  - 01-03-2 構造基準の社会ニーズ対応WG議事メモ180227
  - 01-04 座屈小委員会(木村委員)
  - 01-05 接合小委員会(山田委員)
  - 01-06 素材小委員会鋳鉄WG議事録(見波委員)
  - 01-07 環境小委員会(兼光)
  - 01-08 塑性設計小委員会(五十嵐幹事)
  - 01-09 鋼構造設計規準改定小委員会(田川委員)
  - 01-10 英文化小委員会(松井(岡崎委員代理))
  - 01-11 各種合成構造設計指針改定小委員会(田川委員)
  - 01-15 鋼構造運営委員会重点審議資料\_接合小委員会(山田委員)
  - 01-16 質疑回答(五十嵐幹事)
  - 01-17-1 HP\_英文について(五十嵐幹事)
  - 01-17-2 運営委員会査読者履歴
5. 議事内容
  - (1) 委員名簿の確認
    - ・資料01-00に基づき, 五十嵐幹事より2018年度運営委員会委員名簿の説明があった。  
解嘱 緑川委員 委嘱 石原委員
    - ・各委員は名簿を確認し, 修正があれば五十嵐幹事に連絡する。
  - (2) 前回議事録の確認
    - ・資料01-02に基づき, 兼光より, 前回議事録案の説明があり, 下記修正することで承認された。

- ・軽量構造設計指針 → 軽鋼構造設計指針

### (3) 構造本委員会の動き

- ・資料 01-03-01, 01-03-02 に基づき, 井戸田主査から構造本委員会の動きに関する報告があった。
- ・構造本委員会は, 前回から今回運営委員会の期間中開催されていない。
- ・2018 年度大会研究発表梗概題数は, 鋼構造 346(前年度-6), RC 364, 木質 326, 振動 529
- ・構造本委員会にて, 「構造基準の社会ニーズ対応 WG 準備会」が発足。WG の目的は社会ニーズに対応するため, 我が国の規基準の将来展望のロードマップをつくること。まとめ役は竹内先生。

### (4) 小委員会・WG等の報告

- ・資料 01-01~01-11 に基づき, 各小委員会・WG等の担当委員から報告があった。

#### 座屈小委員会 (資料 01-01 木村委員)

- ・小委員会は開催されておらず, 報告事項なし。

#### 接合小委員会 (資料 01-05 山田委員)

- ・鋼構造接合部設計指針の改定に向けて検討している。今後の予定は,  
2018. 6 原稿執筆開始  
2019. 10 査読開始  
2020. 10 発刊。

#### 素材小委員会 (資料 01-06 見波委員)

- ・小委員会では, ハンドブックに関して, 引続き検討している。
- ・鋳鉄 WG では, 鋳鉄の 3 点曲げ試験報告について議論した。
- ・委員委嘱: 酒井恒幸氏 (清水建設) は運営委員会にて承認された。本委員会に申請する。

#### 環境小委員会 (資料 04-07 兼光)

- ・2018 年度 PD の内容を検討。資料作成中。

#### 塑性設計小委員会 (資料 04-08-1, 2 五十嵐幹事)

- ・重点審議を受けて, 議論を行った。
  - ・接合部, 梁端部, 仕口など, 接合部と部材の境界の定義 (例: 梁端部は接合部なのか?) が, 各規準・指針で統一されていない。
- 接合小委員会が, 指針改定作業を通じて, 運営委員会委員などの意見も聞きながら, とりまとめる。

#### 鋼構造設計規準改定小委員会 (資料 04-09 田川委員)

- ・改定作業の予定は,  
6 月第 1 週~ 運営委員会査読  
7 月 構造本委員会に企画書申請。本委員会査読者を決めてもらう。  
→運営委員会査読者は, 資料 01-17-2 に基づき, 石原委員, 山田委員とする。
- ・書籍タイトルは, 下記で承認された。  
鋼構造許容応力度設計規準  
AIJ Standard for Allowable Stress Design of Steel Structures

#### 鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会（資料 04-10 松井（岡崎委員代理）

- ・2019 年度大会 PD に関して検討。次回運営委員会にて提案予定。

#### 各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 04-11 田川委員）

・小委員会と各種アンカーボルト設計指針改定 WG 合同で委員会を開催し、目的について情報共有した。

- ・各編の改定方針，刊行方法（分冊，全体まとめて販売など）について検討。

→運営委員会意見：金属系アンカーボルトの新築への適用，設備架台以外への適用など適用範囲拡大の議論は，RC 委員会とよくコミュニケーションをとり検討してほしい。

→小委員会設置は，笹子トンネル問題が背景となっていることから，適用拡大については，今後の課題と考えている。

#### 耐火設計関連（資料なし）

- ・特に報告事項なし。

#### (5) 2018 年度大会 PD について

- ・開催予告文は（2017 年度第 4 回資料 04-14）を，事務局に提出し，校正済。

#### (6) 2019 年度大会 PD について

- ・提案を持ち寄り，次回運営委員会（7 月）にて決定する。

#### (7) 重点審議：接合小委員会

- ・資料 01-15 に基づき，山田委員より審議内容について説明があった。以下，主な議論を記す。
- ・ブレース接合部が圧縮を受ける場合については，座屈指針と調整し，どの指針で何を説明するかかの仕分けが必要ではないか。
- ・座屈指針では，ブレース端部の接合には一面せん断を使用しないように記載している。資料に示された図（1 面せん断の図）は，誤解を与える。
- ・ブレース接合部の偏心の影響は，建築基準整備促進事業にて実施した実験を参考に検討する。
- ・柱脚では，アンカーボルトとコンクリートの破壊順序・破壊モードの解説，かぶりや仕上げモルタルが落下することに対する解説も検討してほしい。
- ・章立てだけみると，接合要素と接合部の関係がわかりにくい。
- ・接合部パネルは接合部か部材か？
- ・スロット孔の検討はどのような部位を想定しているのか →梁のウェブ，建物間の接合，耐震鋼板と躯体間の接合などを想定している。
- ・マサツ係数の自由度（例：0.50 でも使える），マサツ面処理の自由度に対する検討をしてほしい。
- ・部分溶け込み溶接，すみ肉溶接の適応拡大に対して検討してほしい（例：フランジ継手を部分溶け込み溶接とする場合）
- ・接合部と変形能力の関係についてはデータで示しながら解説することは是非やってほしい。
- ・原稿がある程度できたところで重点審議をお願いする。

(8) 学会図書の質疑回答の報告

- ・資料 01-15 に基づき、五十嵐幹事より、質疑回答の状況報告があった。
- 質疑 16-1, 16-2 については、田川委員が中野先生に再度確認する。

(9) 若手優秀発表賞について

- ・井戸田主査より、方針と今後の予定について示された。
- ・審査員は3名とする。司会、副司会、運営委員会委員を核に選定する。審査員は公開しない。
- ・主査・幹事にて案を作成し、次回運営委員会にて提示する。

(10) 英文ホームページについて

- ・資料 01-17-1 に基づき、兼光より運営委員会英文ホームページの現状について説明があった。
  - ・情報委員会の依頼（委員会名称・目的・委員長名／主査名の英文情報化について、1998年7月15日）に基づき更新する。
- 各小委員会は、小委員会名称と目的の英文を兼光に提出する。

(11) 新規小委員会の立ち上げについて

- ・井戸田主査より、下記3つの小委員会立ち上げの検討を行う提案がなされた。WGで小委員会立ち上げの準備を行うこととする。

軽鋼構造設計施工指針・同解説見直し小委員会（竹内委員中心に検討）

鋼構造関連の国際基準対応小委員会（岡崎委員中心に検討）

鋼管トラス構造設計施工指針・同解説見直し小委員会（越智委員中心に検討）

6. その他

次回運営委員会 2018年7月31日（火） 13:30-17:00

重点審議 なし

次々回運営委員会 2018年11月中旬（大会前運営委員会はなし）

以上